

改題

# 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 3月号 (NO35)

2013年3月10日(日)発行

## 【農暦】5日は啓蟄。オイヌノフグリの花が春を告げる！

○笠間へ移動の1日は、春一番が吹いたと聞いたが、途中の筑波学園の国土地理院付近は濃い黄色の靄がかかっていた。黄砂か、それとも pm2.5(微小粒子状物質)かと思ったが、広域の工事で剥き出しにされた地肌が風で飛ばされたものだと判った。建物の上部だけが霞んで見えるだけの異様な景色だった。確かに、風は温かった。翌2日は、防寒をしても体温を奪われる強い北風で小物が飛ばされていた。とても農作業が出来ないと言ったら、ダメな農家は何か理由を探して農作業をさぼると F さんに云われた。風でままならないハウスの修理と剪定した枝などの焼却は諦めたが、F さんの言葉に後押しされて、畑に残されたマルチの片付けを行った。3日は、ピッコロファームの温床の給水と温度の自動管理の設定と播種の予定日である。強風はおさまり、朝から穏やかな春の日差しである。前日とは一変し作業日和である。剪定した枝などの雑物を朝から焼却などをした。ピッコロファームのメンバーと昼食のカレーを頂いて柏での予定があり午後から帰った。



＜オイヌノフグリ＞ブルーの可憐な花を付けた。群生し咲くのが楽しみ。4日撮影

○4日は、冬空に戻り寒い。縮む身体をほぐすべく時間がある時はと心掛けている大堀川へ散歩に出かけた。幾種類の水鳥が水面を泳いでいた。寒そうに見えた。先週見たカワセミの姿を探したが出会えなかった。今日(5日)は啓蟄\*である。日差しが温かい。冬ごもりしていた虫も活動を始めそうである。三寒四温どころではない一日置きに冬と春が来る。タイミングが合えば良いが、合わない方が多い。農作業は天気合わせと云うが真逆に作業する事が多い。農のプロにはなれない。



＜水面の水鳥＞水鳥の名前は知らないが10数種類が行き来していた。大堀川で。4日撮影

○大堀川の畔では寒風に晒されながらも 仏の座とオイヌノフグリの花が春を告げていた。我が畑では見られなかったが、そろそろ芽吹きが本格的に始まりそうである。農作業も始動せねばと思う。

\*啓蟄は、二十四の節気の1つで、<sup>すごもりのむしと ひら</sup> 蟄 虫戸を啓くとの意味である。冬ごもりしていた虫が姿を現わし出すころの事を云う。

### 【楽農】片付け整理など

<ハウス> ; 一部修理<畑 A> ; マルチの片付け、剪定枝などの雑物の焼却など  
<畑 B> ; なし

### 【楽市】イベント交流・直売など

#### ○グリーンジム本戸倶楽部

- ① ハウスの中に温床作り (17日)
  - ② 水分、温度の自動制御設備の設定と播種。(1日)
- \*ブログの“ピッコロファーム楽農・楽市”に掲載。

#### ○“自然農集い”水戸自然農ネットワーク (23日)

慣行農業でない新規就農した若い人の話を聞いた。持続し成長し農を牽引して欲しいと思った。入らぬお世話と思われるかもしれないが、農の再生のためには制度的なサポートが必要ではなどと勝手に思いを巡らせていた。有意義な半日であった。

#### ○その他 ;

- ①川崎OB会 (8日) 茨城大卒論発表会 (9日) 芝(野)焼き (10日) 歴史倶楽部あだち (13日)などに参加。この後15日夜から22日までインフルエンザで寝込んでしまった。17日のグリーンジムを始め各種の予定を欠席した。



<自然農の集い>3人の実践者の熱い話を聞く、満席の参加者。23日撮影

### 【つぶやき=Tweet】震災復興のために何か出来る事は？

○三陸牡蠣復興支援プロジェクトから牡蠣を3月上旬に届ける連絡が入っていたが、1日に届いた。皮肉にも、ちょうど笠間に出かけた後であった。賞味期限が5日とあり、私は3日に美味しく頂いた。牡蠣の菜の他に感謝のメッセージの綴りと手紙が添えられていた。手紙には、主要な浜では牡蠣養殖が再開、今シーズンはまだ例年の10%から30%位の復旧であると書かれていた。テレビなどで見る被災地の映像を思い出され、牡蠣はいつもとは別な味がする様な気がした。

○普通の市民？が震災復興のために何か出来る事はないかのテーマのラジオで、旅行に行って地元にお金を落とすのも1つの手助けになると話を聞いて、2度ばかり福島を旅した。貧乏旅で助けになったかどうかは？である。旅行者は余りいなく少しは意味があったかなと思いつつ、少しでも助けになれる事はないかと思っていた。そ



<ご当地 グルメサミット>黄門さんも登場して。笠間芸術の丘公園で。11日撮影

んな時に、三陸牡蠣復興支援プロジェクトの呼びかけを知り牡蠣オーナーになっていた。やらないより少しは良かったと思った。大きな事は出来ないが、これからも出来る事があればしたいと思う。

○後始末に追われ農的生活に疲れ、今は充電期間と考えて、読書、映画、それに飲み会など楽しんで来た。これから始動しようとした矢先にインフルエンザに罹り、また出鼻を挫かれた格好になってしまった。人生塞翁が馬と云うが、何があるか分からない。読書\*1では紹介したくなるような本と何冊も出会えた。映画も昔懐かしい映画館（「銀座シネパトス\*2」「有楽町スバル」）を梯子して昔の友人と見た。昔の仲間との飲み会も良い刺激を受けた。農的生活の中にもこの辺を取り込んだものにしたいと切に思った。みんな遊びと言われそうだが QOL（クオリティ・オブ・ライフ）を問うた本を読んだが、“心を豊か”が生活の質をあげるのだと思う。物ではない。畑と共に、山行、映画、読書などと、悪い癖の欲張りな気持ちになり始めていた。インフルエンザは良い意味で実力に合わせて少し落ち着けよとクールダウンしてくれた様な気もする。欲張らず、刹那、刹那の QOL を大切にしたい生き方をしたいものだと思う。

\*1 「世界を知る力・日本創生編」寺島実郎著 PHP 新書を今読んでいる。著者は、農業には触れてないが、テレビ出演も多く、共感出来る意見が多い。震災と福島原発事故後の日本の状況を考える時に示唆に富んだものがある。多くの人に読んで貰いたい本である。

\*2 「銀座シネパトス」は映画の好き？に惜しまれながら「インターミッション」の上映を最後にして3月に閉館になる。

【後記】芽吹きは勢いは凄い。オイヌノフグリ、仏の座、たんぽぽの花も。畑に出る人が目立つ。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



＜荒れた菜園＞景観を壊す菜園が多い。農が大事、土を楽しむのは良いが？乱雑な農業資材は醜い。私も反省せねばと思っている。柏の郊外で。5日撮影

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；[torao-k@nifty.ne.jp](mailto:torao-k@nifty.ne.jp)

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>